



取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

[適合車種] F I T D B A - G K 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6
D A A - G P 5 ・ 6

【色記号】 本製品は未塗装品です。車両色（ホンダ色記号）は、サービスインフォメーションプレートで確認して下さい。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行ってください。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
5. 本製品は車両登録後に取り付けを行ってください。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. エアロ ボンネットが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。エアロ ボンネットに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

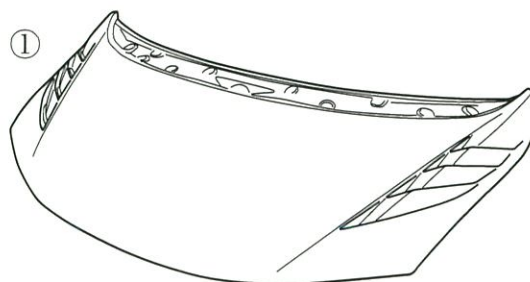
【構成部品表】

No. PARTS NAME.

- ① エアロ ボンネット
- ② ストライカー
- ③ ボルト 大
- ④ ボルト 小

QTY.

- 1
- 1
- 4
- 2



【必要工具】

- ・ボックスレンチ 8mm/10mm/14mm
- ・メガネレンチ 8mm/10mm/14mm
- ・クリップリムーバー

FRPゲルコート仕上げ製品の特性及び塗装作業の注意事項

●FRPゲルコート仕上げ製品の特性

FRP製ゲルコート仕上げの商品は複雑な形状を製造するのに適したハンドメイドで製造した商品です。そのためPPE、ABS樹脂製塗装済み商品とは取扱いが異なります。

ハンドメイド製造品のため、車両、商品の個体差により、塗装前にフィッティング確認、取付穴などの修正及び、製品表面の面出しや製法上発生するキズなどの修正等の下地処理が必要となります。予めご了承ください。

○塗装作業の注意事項

下記の点にご注意ください。

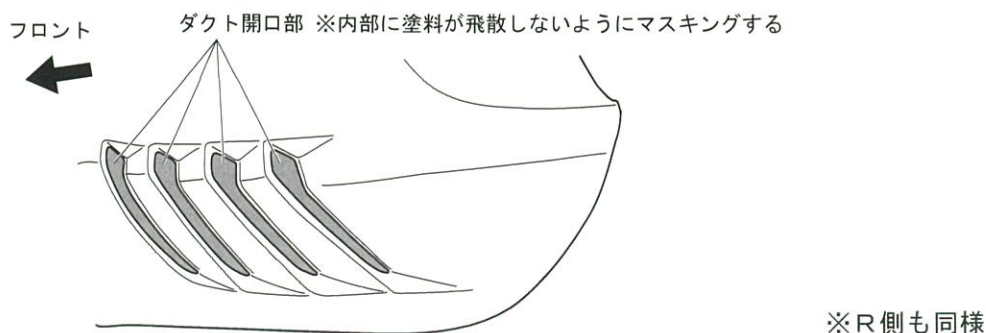
1. 塗装作業前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けができることを確認して下さい。取付穴および車体部品とのフィッティングの調整を行って下さい。車両個体・製品個体差等で修正が必要になる場合があります。
2. 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修、修正跡、ゲルコート表面の細かい凸凹があります。本塗装前に必ず下地処理を行って下さい。
3. ゲルコート仕上げ状態のままのご使用は出来ません。製品を良く確認の上、必ず全面にサーフェーサー（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、パテ（カーボン部のクリア塗装仕上げ部は除く）、耐水ペーパーによる面出し作業、足付け作業などの下地処理を行った上で、本塗装を行って下さい。特に、割型面部はピンホールが発生し易いので、必要に応じてパテ修正・面出し等の下地処理を行って下さい。

*なお、FRPゲルコート製品はその製法上、ABS、PPE樹脂製塗装済み商品と同等の面品質が出ない場合があります。予めご了承ください。

4. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼き付け仕上げ温度の上限は50℃です。FRP製品を50℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
5. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。

I. 塗装作業

- ①エアロ ボンネットの表裏両面をボディ色で塗装する。その際にダクト開口部に古紙等を入れてマスキングし、ダクト内部に塗料が飛散しないように注意すること。



II. 取付準備

《注意》・エアロ ボンネットおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

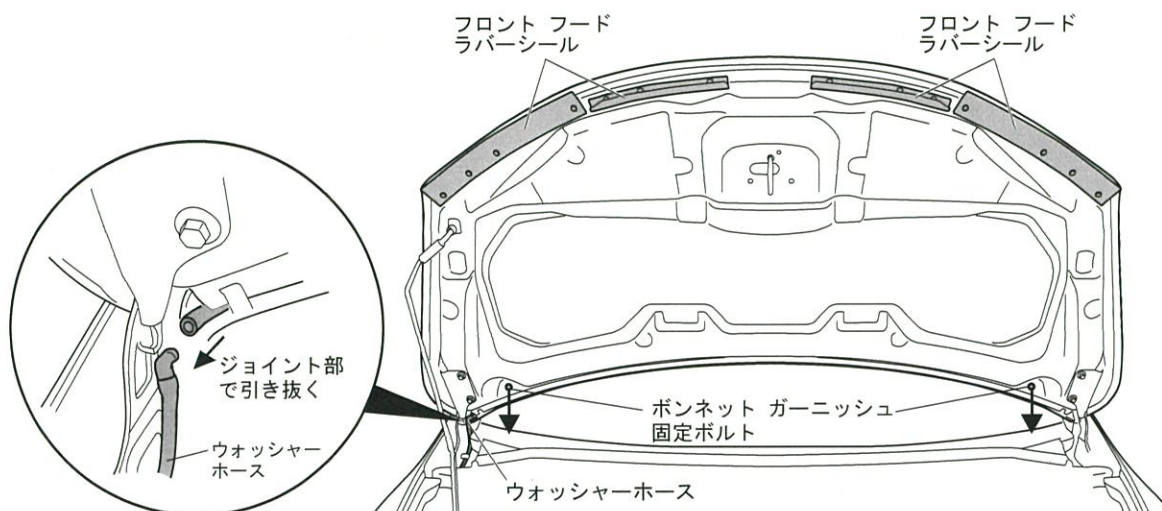
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

・作業は左右同様にを行うこと。

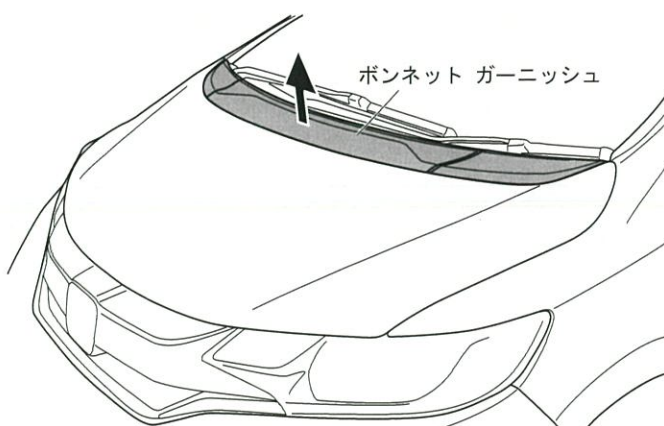
①ボンネットを開け、フロント フード ラバーシール、ウォッシャーチューブ、ボンネット ガーニッシュ固定ボルトを取り外す。

フロント フード ラバーシールは再利用するため、クリップの紛失や破損に注意すること。

※ボンネット ガーニッシュ固定ボルトは再利用しない。



②ボンネット ガーニッシュを取り外す。（サービスマニュアル参照）



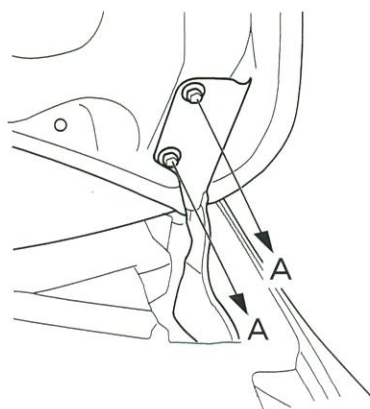
③車両からボンネットを取り外す。（サービスマニュアル参照）

ヒンジ取り付け部のボルト（A）は、エアロ ボンネット取り付けの際に再利用するため、紛失や破損に注意すること。

A (4)



ボルト
(再利用)



Ⅲ. エアロ ボンネットの取付

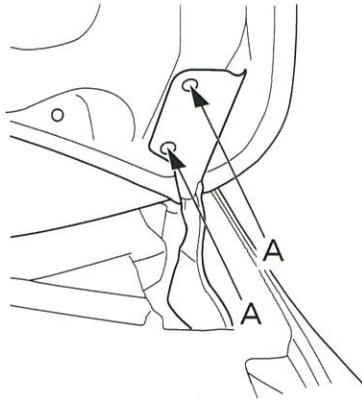
- 《注意》・エアロ ボンネットおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様に行うこと。

①エアロ ボンネットを車両にあてがい、ボルト（A）で仮固定する。

A (4)

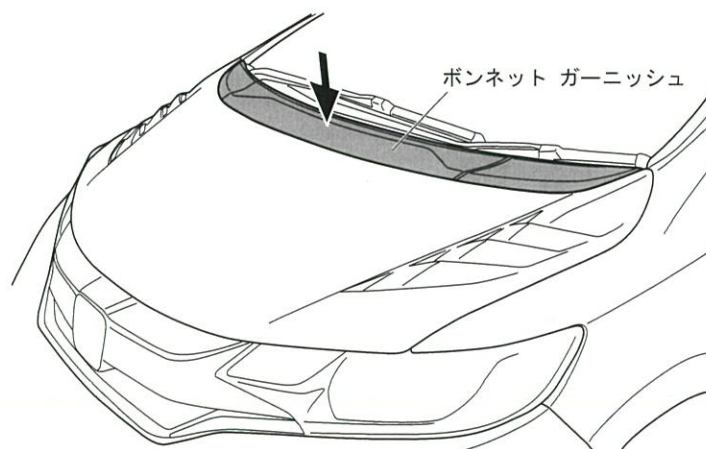


ボルト
(再利用)



②ボンネット ガーニッシュを取り付ける。（サービスマニュアル参照）

※ボンネット ガーニッシュ固定クリップを丁寧にしっかりと押し込んで取り付けること。

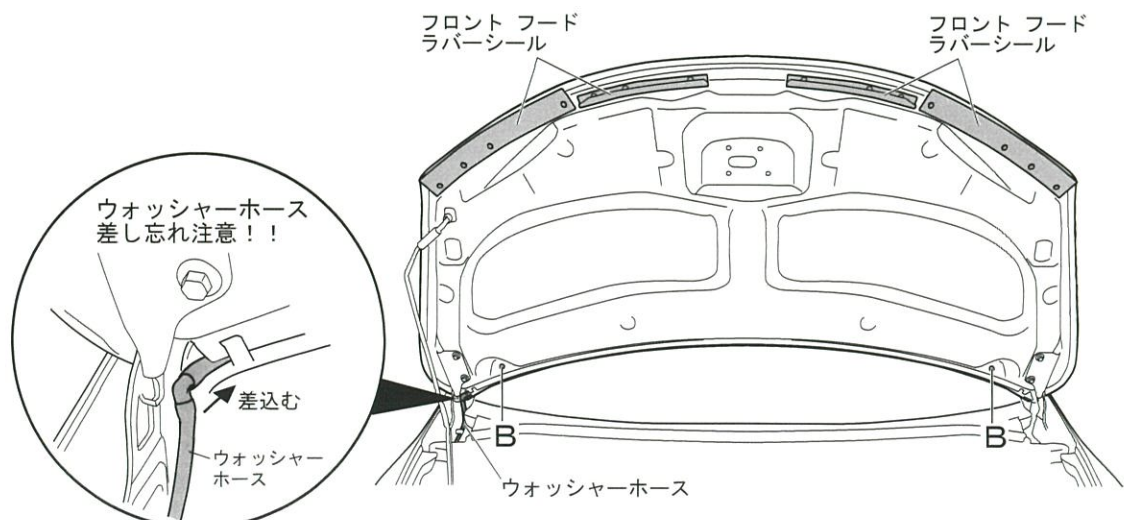


③エアロ ボンネットにフロント フード ラバーシール、ウォッシャーチューブを取り付け、ボンネット ガーニッシュをボルト 小（B）で固定する。

B (2)



ボルト 小

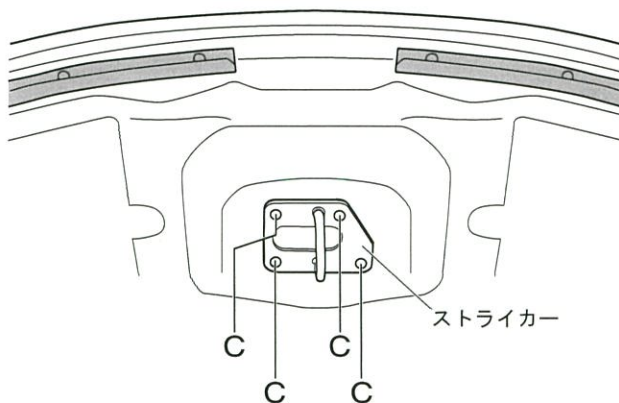


④エアロ ボンネットにストライカーをボルト大（C）で仮固定する。

C（4）



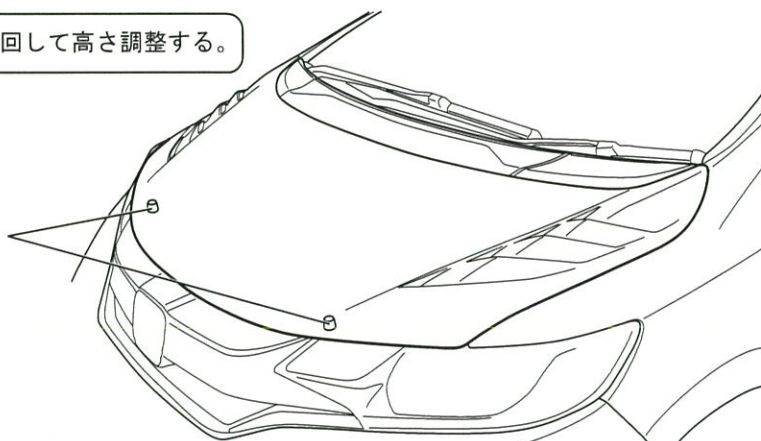
ボルト 大



⑤エアロ ボンネットと車体との前後、左右方向のクリアランスおよび段差を純正ボンネットと同様に調整し（サービスマニュアル参照）、上下方向のクリアランスおよび段差をボンネットクッションで調整しながらボルト（A）、ボルト 大（C）を本締めする。

ボンネットクッションを回して高さ調整する。

ボンネット クッション
※エンジンルーム内



⑥各部の取付状態が完全か確認する。

◇ 注意事項 ◇

エアロ ボンネットを閉める際は、ストライカーが噛み合う位置までゆっくりと手でおろし、図示位置（ストライカー部）を押し込んでロックしてください。

